



「世界エイズデー」は12月1日です

HIV/エイズについて考えてみませんか？

～沖縄県におけるエイズの現状～

沖縄県でのHIV/エイズの現状をご存じですか？

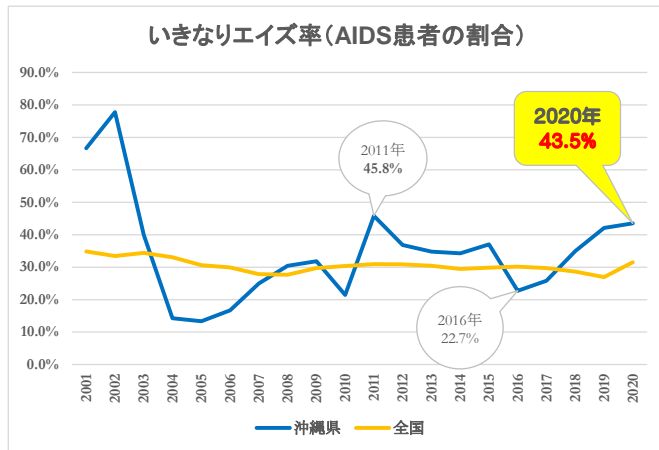
沖縄県は、全国的に見てもHIV感染者/エイズ患者の報告数が多い地域となっています。本県では、1987年以降、2020年までのHIV感染者とAIDS患者を合わせた累積報告数は、432件となっています。年別では2014年の33件が最も多く、その後減少傾向がみられたものの、2020年は、前年を4例上回る、23件（HIV感染者数13件、AIDS患者数10件の報告があり、依然として感染が広がっている状況です。

診断時に既にエイズを発症している事例（いきなりエイズ）の割合は、全国平均が約30%となっています。本県では2011年以降、2016年及び2017年を除き全国平均を上回り、**2020年では43.5%と大幅に上回っている**ことから、早期発見のための検査機会を逸している」と推察されます。

また、人口10万対における報告数で本県は、毎年全国の上位に位置し、2020年はHIV感染者報告数は全国3位、AIDS患者報告数は全国2位となっています。沖縄県の2020年HIV/AIDS報告数2020年の報告届出数23件の内訳です。年齢階級別では、HIV感染者は、20歳代から30歳代で11件(85%)でした。一方、AIDS患者は年齢層が上がり30歳代から40歳代で9件(90%)を占めています。性別は、すべて男性で、女性の報告はありませんでした。

もしHIV陽性になったら？

エイズは、HIV(エイズの原因ウイルス)に感染するとおこる病気です。HIVに感染してから2～3週間すると、風邪のような症状がでます。その後、数年～10年くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。未治療だと進行し、微熱や下痢、肺炎等をおこし「エイズを発症した状態」＝「**AIDS患者**」となります。残念ながら現在はまだ、HIVを完治する治療方法はありません。しかしHIV感染を早期に発見し、抗HIV薬を服用すれば、エイズの発症を防ぐことができます。また、服薬を継続することによって、体内でのウイルス増殖を抑え、検査でも検出できないウイルス量にすることができます。これにより、健常時と変わらない日常生活と、非感染者と同じくらいの寿命が期待できます。



令和2(2020)年新規報告数および人口10万対新規報告数の上位自治体

HIV感染者人口10万対

1位	東京都	2.18
2位	大阪府	1.01
3位	沖縄県	0.89

AIDS患者人口10万対

1位	大分県	0.70
2位	沖縄県	0.69
3位	東京都	0.57

HIV感染者とAIDS患者の合計

1位	東京都	2.74
2位	沖縄県	1.58
3位	大阪府	1.28



未来の自分のために…

HIV検査を受けてみよう！

※宮古保健所では事前予約で**無料・匿名**で検査を受けることができます！結果は即日お返しいたします。その他の性感染症(クラミジア・梅毒)・肝炎に関しても検査可能です。まずはご相談ください。

参考文献

・沖縄県衛生環境研究所 衛環研ニュース【第41号】(2021年2月)「HIV/AIDSの発生動向について」
<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/news/news26-1.html>

・厚生労働省エイズ動向委員会「令和2(2020)年エイズ発生動向年報(1月1日～12月31日)」
<https://api-net.jfap.or.jp/status/japan/nenpo.html>